

1

1. (1) ① p.30 図2 参照 ① 角膜 ② 強膜 ③ 網膜 ④ 脈絡膜
- (2) ① p.30 図2 参照 A 盲斑 B 黄斑 X 錐体細胞 Y かん体細胞
- (4) ① p.33 3～5 行参照 虹彩
- (5) ① ① p.31 16～17 行 かん体細胞 ② ① p.33 18～20 行参照 暗順応
2. (1) ① p.32 11～12 行参照 ① 遠近調節によって焦点を合わせることができる最も近い点。
- ② ① p.32 “ちょこラボ”参照 個人差あり
- (2) ① p.29 3 行参照 感覚器
- (3) ① p.123 17～25 行参照 ① パスポート等の偽造対策 ② 皮膚癌・日焼け等
- (4) ① p.32 6～9 行参照 毛様筋
- (5) ① p.34 17～20 行参照 眼から送られた情報を解析するとき、客観的事実と異なる感覚を生じること。

2

1. 一番最後のページ『元素の周期表』参照

Au	Ag	Cu	Fe	Al	Zn
Ni	Ti	Mn	Cr	Sn	Mg

2. ① p.59 2～14 行参照 ① 酸素 ② 製錬 ③ 4～5 ④ 重金属 ⑤ 卑金属 ⑥ 貴金属
- ① p.60 12～21 行参照 ⑦ 自由電子 ⑧ 延性 ⑨ 展性 ⑩ 金属光沢

3. ① p.61～62 参照

ウ	ウ	イ
ア	イ	ウ
イ	ア	ア

4. (1) ① p.64 3～15 行参照 ① 鉄 ② 酸素 ③ 高 ④ 火山ガス
- (2) ① p.61 20～21 行参照 ① 青銅 (ブロンズ) ② ① p.61 6～7 行参照 ステンレス鋼
- (3) ① p.64 21～22 行参照 さびにくい金属でおおって表面を保護する方法
- (4) ① p.59 表1 p.61 24～25 行参照 Al は鉄に対して密度が $1/3$ で軽い。等